

令和5年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和5年10月17日（火）、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和5年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

本年度は、ご来賓として長崎県を始め佐世保市及び西海市等の関係各所の代表者の方々や永年勤続者の所属する職場の上司のご臨席を賜り、また、永年勤続者のご家族の参列の下、開催することが出来ました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された従業員154名に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国歌吹奏から始まり、主催者挨拶として日本側を代表して江原康雄九州防衛局長から「従業員の皆様方の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表すとともに、苦楽を共にしてこられた職場、ご家族の方々の温かいご支援に深く感謝いたします。これからも日々の活動や交流を通じ、日米両国の架け橋として、更にご尽力賜りますようお願い申し上げます。」と述べられ、また、米側を代表してマイケル・フォンテン米海軍佐世保基地司令官から「佐世保基地は2年連続で、日本一の米海軍基地に選ばれ、評判の高い基地です。この名声は、在日米軍で働く従業員である皆さんのプロ意識と献身的なサービスのおかげです。佐世保基地の指揮を執るようになってまだ3週間もたっていませんが、MLCとIHAの労働力が艦隊に卓越した支援を提供していることは既に明らかです。」との式辞が述べられました。

引き続き、勤続年数40年、30年、20年、10年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、米海軍施設技術部隊佐世保財務総務課の古川 保氏が、「私たちが、永きにわたり勤務出来たことは日米両国の関係者等のご協力によるものです。これからも困難を乗り越え、良好な日米関係を維持するため、一層努力する所存です。」との答辞を述べられ、式典は和やかな雰囲気の中、滞りなく終了しました。



▲江原康雄九州防衛局長の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞



▲マイケル・フォンテン司令官と江原九州防衛局長